

社会参加で生きがいづくり

さいたまシルバー



「岩槻城址公園・菖蒲池に咲く睡蓮とハッ橋」

目次

- 定時総会ご挨拶 2～3
- 令和元年度 定時総会・アトラクション 4～7
- 各種講習・研修会 8～9
- 就業会員の声・発注者の声 10～12
- 地域班活動・親睦互助会 13～15
- 事務局より・表紙の言葉・編集後記 16

第36号

2019.8.1



公益社団法人 **さいたま市シルバー人材センター**

〒330-0801 埼玉県さいたま市大宮区土手町1丁目213番地1

さいたま市大宮ふれあい福祉センター 内

Fax:048-669-0305

Tel:048-669-0303

さいたま市シルバー

検索

<http://saitama-sjc.or.jp/>



定時総会ご挨拶

公益社団法人 **さいたま市シルバー人材センター**

理事長 **佐伯 鋼兵**

本日、ここに令和元年度定時総会を開催いたしましたところ、このように多数の会員の皆様にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、ご来賓の皆様には公務ご多忙中にもかかわらず、ご臨席を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、今年はや号が変わり「令和」の時代を迎えました。この「令和」には、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められていると言うことです。当センターもこの新しい時代に「自主・自立」「共働・

共助」のシルバー人材センターの基本理念のもと、会員の皆様一人ひとりが心を寄せ合い地域社会で活躍することにより、大きく飛躍することを願うものです。

振り返りますと平成30年度事業実績は、会員数、契約件数、就業率、いずれも第二次中期計画の目標値には届かなかったものの、派遣事業の事業実績は大きな伸びとなり、サービス業等の人手不足分野や介護、育児等の現役世代を支える分野において、高齢者の活躍が期待されている中、それらに応えられた結果であ

ると考えております。

また、わが国では、「人生百年時代」の健康長寿を目指して、高齢者のライフスタイルについて様々な施策が議論されています。

このような中、地域に密着した活動を展開するセンターの存在意義は、大変大きく、多くの高齢者が元気に社会で活躍し、貢献するという公益的使命もますます重要なものになると思っております。

会員の皆様が就業を通して長寿社会における自立した生活を目指すほか、ボランティア活動等の地域社会活動に積

極的に参加し、地域からの信頼を高め、全会員の「生きがい」の充実につなげたいと考えております。これからも健康には十分ご留意され、「安心・安全」な高齢者の活力ある地域社会づくりに一層のご活躍をお願い致します。

さいたま市をはじめ、関係諸団体の皆様方におかれましては、シルバー人材センターが、高齢社会対策の一翼を担っておりますことを十分ご理解いただき、引き続き就業の場の確保等において絶大なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、ご臨席を賜りましたご来賓をはじめ、会員皆様方のご健勝とますますのご活躍をご祈念申し上げます。ささせていただきます。



定時総会ご祝辞

さいたま市長 清水 勇人

今日は、公益社団法人さいたま市シルバー人材センターの令和元年度定時総会が多くの皆様の御参加の下、盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

日頃より、佐伯理事長をはじめ、さいたま市シルバー人材センターの皆様方には、本市の市政運営に格別の御理解御協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

また、本日表彰を受けられる皆様におかれましては、心から敬意を表しますとともに、お祝いを申し上げます。誠にありがとうございます。

さて、平成13年5月に誕生

しました本市は、市政の歴史において初めてとなる改元を経て、2年後の令和3年には、本市誕生から20周年の節目を迎えます。平成の時代で積み重ねてきた経験や教訓を生かし、令和の時代を市民の皆様とともに歩んでまいりたいと考えております。

2025年、我が国は、第一次ベビーブームに生まれたいわゆる「団塊の世代」の方が75歳以上となり、「超高齢社会」は新たな局面を迎えることとなります。本市の高齢化も従前の予測を上回るスピードで進行しており、今後、医療・福祉・介護・生活支援

に対するニーズは、量・質の両面でますます増大・多様化していくことが想定されます。

このニーズに対応するため、長寿応援のまちづくりや、健康を維持する健康寿命の延伸、ノーマライゼーションの理念に基づく環境の整備、充実した医療提供体制の確保に取り組んでまいります。

こうした取り組みの一つとして、本市では中高年齢層の社会参加を促進し、市民一人ひとりが「生涯現役」として地域の中で活躍できるよう、就労、ボランティア、余暇活動の情報を集約・発信する「(仮称)セカンドライフ支援

センター」を本年9月に開設いたします。

シルバー人材センターにおかれましては、会員の皆様がお持ちの豊かな知識や経験、能力を地域社会で発揮できるよう就業機会を創出し、活躍の場を引き続き提供されることを期待しております。

本市としましては、このような重要な役割を担われるシルバー人材センターと連携して、高齢者の皆様方の社会参加を支援して参りたいと考えておりますので、会員の皆様方には引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。結びに、さいたま市シルバー人材センターの更なる発展を祈念いたしますとともに、会員の皆様の御健勝、御多幸をお祈り申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

令和元年度 定時総会が開催されました

6月20日、さいたま市民会館おおみや大ホールで令和元年度定時総会が開催されました。

当日は661名の来場があり、委任状と合わせるに390名を超える出席数となりました。

司会を松田幸子会員が務め、佐伯理事長による挨拶、来賓の方々によるご祝辞をいただきました。その後、佐伯理事長より会員、団体の表彰があり、表彰状が授与されました。

した。

引き続き総会に入り、議長には片桐健司副理事長が選出されました。報告事項として平成30年度の決算書類の監査報告と平成30年度事業報告をおこないました。

また決議事項として平成30年度収支決算報告の承認、定款の変更、役員の報酬等及び費用に関する規程の変更について審議され承認されました。



議長を務める片桐健司副理事長



挨拶をする佐伯鋼兵理事長

ご来賓の皆様



右上 さいたま市長 清水 勇人 様

左上 さいたま市議会議員 渋谷 佳孝 様

左下 公益財団法人いきいき埼玉
業務執行理事兼事務局長 田辺 勝弘 様



決議事項に続き、その他の報告事項として、3月の理事会で承認された令和元年度事業計画及び令和元年度収支予算について報告をおこないました。

定時総会終了後は、会員によるアトラクションと、ヴァイオリニスト Tsukasa さんによる演奏で盛り上がりました。

アトラクション終了後、お楽しみ抽選会がおこなわれ、5名の方に豪華景品が贈られ、その他出席された会員の約半数の方にお米が贈られました。



抽選をする片桐副理事長



総会の受付風景

令和元年度 事業計画

1 会員の増強

目標会員数5,350人達成のため、「会員1人が1人を誘う運動」や関係機関との連携した普及活動を行います。また、地域の女性会員へのニーズに応えるため、女性会員同士の交流・仲間作りから会員増強を目指します。

2 就業の場の確保

契約金額17億9,000万円、契約件数19,200件、就業率79.5%達成のため、体制を整備し、継続的な情報収集を行います。また、就業相談や情報提供を充実し、就業の場の確保に努めます。

3 安全・適正就業対策の推進

安全・安心して「働く」ため、会員の「気づき」の糧となるよう情報提供の強化や「安全のしおり」の周知に努め、安全・適正就業対策を推進します。

4 運営体制の強化・充実

地域班・職群班の更なる活性化に努めるため、会員の自主的、自発的な活動を促し、魅力ある組織の構築に努め、運営体制の強化・充実を図ります。

表彰者の皆様



荒木 昇会員
鈴木 利二会員
星 修会員
篠沢 弘会員
菊池 義範会員
平井 榮会員

会員表彰者



久保田吉広会員
小林 新吉会員
大滝 英次会員
新井 泰雄会員

会員表彰者 (安全表彰)

就業活動等によりセンターの事業推進に寄与し、その功績が特に顕著である方が表彰されました。



荒木会員と久保田会員が代表して理事長より表彰状を受け取りました。



一般財団法人
さいたま市都市整備公社
理事長 関 成樹様

一般表彰者

総会当日はご欠席でしたが一般表彰者としてもう1社、シグマベン ディンググサービス株式会社様を表彰させていただきました。

総会終了後のアトラクション



久保 香 会員他4名
演歌舞踊



鈴木 秀男 会員
口笛



菅原 勝子 会員他6名
銭太鼓



宮本 和勇 会員他30名
和太鼓と尺八の演奏にのせて
みんなで輪踊り！

Tsukasa Violin Concert



各種講習・研修会

次のような講習や研修が、昨年度下半期に実施されました。

Pick Up

実施された講習・研修の中から一つを取り上げて紹介します。

傾聴ボランティア

スキルアップ講習

傾聴ボランティアスキルアップ講習はさいたま市シルバー人材センターで活躍している傾聴ボランティアが、さらなる技術向上を目指して実施している講習です。

傾聴ボランティアとして活動するには傾聴ボランティア養成講習を受講しなければなりません。しかしそれは始まりでしかないといえます。実際に活動しているうちに悩みを抱えたり、力不足を感じたりすることもあります。スキルアップ講習を実施することで、傾

聴のあり方を見直したり、仲間と情報交換をしたりして問題を解決していきます。

年2回実施するうち、1回は養成講習を実施する日本傾聴ボランティア協会に依頼していますが、1回は会員が自主的に企画して実施しています。
今後とも活躍が期待されます。



会員講習・研修

シルバー人材センター主催の会員を対象とした技能及び資質向上を図る講習ならびに研修です。

① パソコン講習

第4回 初めてのパソコン

10月9日～11日 16人参加

会場・与野事務所

第5回 ワード入門

10月23日～25日 16人参加

会場・与野事務所

第6回 エクセル入門

11月6日～8日 16人参加

会場・与野事務所

② 料理講習

10月17日 19人参加

会場・与野本町コミュニティセンター



③ 高齢者自転車交通安全講習

10月26日 30人参加

会場・大宮事務所

10月29日 28人参加

会場・与野事務所



④ ハウスクリーニング研修

11月6日 19人参加

11月14日 17人参加

会場・ふれあい福祉センター

⑤ 認知症サポーター養成講座

12月11日 29人参加

会場・与野事務所

⑥ 救命講習

3月5日 17人参加
 3月7日 35人参加
 会場・ふれあい福祉センター

⑦ 植木剪定研修「松」

3月8日 19人参加
 会場・与野南小学校



⑧ 植木安全就業研修

3月11日 86人参加
 会場・見沼グリーンセンター

⑨ 接遇研修

3月12日 35人参加
 会場・ふれあい福祉センター

高齢者生きがい

活動センター事業

さいたま市内の高齢者に対し、各種研修及び技術指導を行うことにより就労を支援します。高齢者の豊かな経験、知識及び技能を活用した地域活動を支援し、生きがい活動の場を提供することにより、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを促進するための事業です。会場はすべて高齢者生きがい活動センターです。

① 障子張り講習

11月28日 14人参加



② 傾聴ボランティア スキルアップ講習

10月22日～月30日 43人参加
 1月31日 48人参加



③ 筆耕講習「写経書き」

3月13日～19日 26人参加



講習会・研修会のお申込みについて

各種講習会、研修会についてのご案内は、毎月発行している「会員ニュース」や「市報さいたま」に掲載されます。

お申込みについては、講習会や研修会ごとに内容や会場が異なりますので、それぞれ確認のうえ、掲載された申込み先までお願いいたします。

受講希望者が定員を超えた場合は抽選となりますが、就業に必要な技能と知識を身につけられますので、皆様の積極的な参加をお待ちしています。

就業会員の声

大宮会員の蝦名 えびな 修一さん

現在日進駅（北口）で駐輪場管理に携わっておられる蝦名さんにお話を伺いました。

「仕事は駐車場内の整理、清掃、無断駐車確認などですが、利用者が常に気持ちよく利用して頂けるように心掛けています。風が強いときには自転車がよく倒れますし、街路樹の落ち葉が吹き込むので、清掃が欠かせません」。

「ここは近くの保育園に通う親子の利用者が多く、自分の孫と同じ年ごろの小さな園児が手を振って、行ってきましたと挨拶してくれるのが嬉しいです」。

「毎日早朝の3時間勤務で、3人交替でやっています。3人一緒に働くことはありませんが、月1回の打ち合わせでは、日常の業務について意見交換するのに加えて、飲みニケーションに発展することもしばしばで、お互い気心が分かり合える本当に良い仲間です」。

「シルバーに入会してよかったことは、新しい人脈が増えたこと、サラリーマン時代にはできなかった日頃お世話になっていた地元に、清掃活動などで少しは恩返しができたことです」。

インタビュー当日は事前にメモを準備されテキパキとした対応が印象的でした。周辺の人々の信頼が厚く、6月からは新たに職群班長の役が加わるそうです。

趣味は奥様と一緒に散歩をすることと時々テニスだそうです。

（取材・後藤編集委員）



浦和会員の田中 敏子さん

シルバー人材センターの会員として21年、田中敏子さんを就業先に訪ね、お話を伺いました。

「掃除が好きな事と、自分好みの作業がしたいという願望を持っていたところ、友人からの誘いを受け会員となった」とのこと。

ご実家は建設業で、事務職として長く勤められていました。

ある時、お子様から「外の空気を知らない」と世間知らずになるよ」と言われたのがきっかけとなり、そこで一念発起、まずはパートタイマーとして働き始めました。

時間給500円の時代。量販店のバーコードの作成、会社、病院内の清掃、結婚式場の受付、着付けなどの仕事をされてきました。会員となり、マンションとタクシー会社の乗務員の休憩所の清掃を併せて21年、内容は前者は毎木曜日に、後者は月、水、金で、朝9時から11時の2時間、エアコンの清掃、食器洗い、休憩所の修繕などにも精力的に対応されてます。

また「トラブル防止のためには近隣の方たちとのコミュニケーションが大切、主婦の感覚よ」とサラッと言われました。

歯、目はもちろん検診は定期的を受け、歩くことが健康の秘訣、病気とは無縁。ただ一度、洗濯機装置の排水溝に足をとられ、アキレス腱断絶のケガで3ヶ月間も休み、就業先に迷惑をかけたことがあったそうです。

趣味は掃除と編み物。今でも足踏みミシンを使われていて、作品を障害者施設他、宮城県地震被災地等に送っているとのこと。

（取材・吉川編集委員）



与野会員の森角 京子さん

北与野駅に近い大型マンション2棟の広い敷地の自転車置き場や駐車スペース、各階通路などの清掃業務に就いている森角さんを訪ねました。

3つの区域に分けて3人で分担し、朝の4時間就業だそうです。気をつけている事は「笑顔と挨拶です。住民の方に出会えば必ず挨拶します」。シルバー人材センターに登録して11年。

「最初からずっとこの仕事でした。やっていて良かったと思います。皆さんと知り合い、助けられて」。穏やかな笑顔の表情が印象的です。

盛岡市出身。国鉄バス(当時)の切符売り場に勤めていた時、大宮からよく盛岡に出張に来ていた会社員のご主人と知り合い、結婚された。7年前にそのご主人を心臓病で亡くされ、今は1人暮らし。お子さんは3人で、息子さんは仙台在住、娘さん2人が県内に家庭を持っておられ、時々来てくれる

という。「みんな親孝行です」。

大宮のホテルのプールで、毎日500メートルを泳いでいるというからすごい。少女時代からスポーツ大好きだったと言います。

仕事は週に3日。金曜日はグラウンドゴルフ、土日は油絵や水彩画、お菓子作りを楽しんでおられる。長年、裁縫学校などで料理指導をしてきた経験を生かし、シルバーで女子会のお手伝いもされています。「この年になると恩返しですね。来てくれて良かったと言われるようにやっています」。

マンションの事務所に、森角さんが描いたアジサイの美しい油絵が架けられていました。

(取材・馬場編集委員)

**株式会社 小山本家酒造 様**

製造第二部門 杉本武彦部長に彩の国優良ブランド品認定証や地域貢献に係る感謝状(移動図書館車両の寄贈)などが飾られた本社工場応接室でお話を伺いました。

「小山本家酒造は、灘と伏見で

発注者の声

酒作りを習得した創業者が、現在本社工場がある指扇に良質な水が湧き出ることを発見し、一八〇八年(文化5年)に創業した由緒ある会社です」。

「当社には本社工場と京都、灘に2酒蔵があります。当社を中核として秋田、新潟、伏見にある4つの酒蔵所、更に酒販

会社、精米会社などを加え、旗艦銘柄の世界鷹を冠した『世界鷹小
山家グループ』を構成しています。
グループの生産高は全国清酒メーカー約一五〇〇社中、第4位です」。
「当社のモットーはリーズナブルな価格で、地域に根差した美味しいお酒を消費者にお届けするこ

とです」。

「シルバーの方々には包装工程をお任せしています。完成品を不織布で包み、段ボール箱に詰めるまでの一連の工程です。皆さん丁寧で素早く作業され、当方の予想より仕事が捗っています」。

「仕込みは10月から翌年5月頃まで、お歳暮の時期12月がピークですが、これに合わせてシルバーにお願いしています」。

宣伝はあまりしないとお聞きしましたが、近くにこんな大きな地元企業としての清酒工場があったのですね。(取材・後藤編集委員)



株式会社 林間 様
りんかん

株式会社林間は、さいたまスタジアムの西側、122号線を挟んだ緑区大崎に位置しております。浦和営業所長の池上英明様をお訪ねしました。

株式会社林間は創業40年、一般土木工事や外溝工事、鉄道工事など、幅広い現場を手掛けている会社です。

池上様は赴任されて3年とのこと。「前所長から引き継いだ時点でシルバー人材センターのお付き合いはすでにありました」と言われました。

シルバー人材センター会員の就業時間は7時から11時までが基本で、男子2名の体制です。就業日は日曜日を除く毎日です。主な業務は社員寮の室内、室外のトイレの清掃とごみ出しです。

「会社の業務が総合建設業のため、ごみの性質上、女性ではちょっと無理かなあ」と言われました。会員の働きぶりについては「特に問題もなく、社員が気づいたこ

とがあれば、声をかけています。

就業の予定表なども会員の方々にまかせてます」と言われ、信頼度の厚さを感じとられます。そして「体調とけがに気をつけて就業してほしい」との会員に対する温かい言葉をいただきました。

そして、最後に就業している2名については「要領もわかっていてることなのでそのまま続けていただければ助かります」と言われました。
(取材・吉川編集委員)



株式会社 アロイ技研 様

岩槻の掛^か、元荒川沿いの工業団地内に位置する株式会社アロイ技研を訪ね、取締役営業部長の福澤孝雄様と工場長の久賀輝様にお話を伺いました。

「当社は金属部品の接合加工が主業。工業団地内に3つの工場があり、従業員45名で、ろう付受託加工・連続式水素雰囲気炉設計と製作をしています」。「受託加工品は自動車エンジンの燃料用パイプやエアコン冷媒用パイプなどで、高いろう付精度が求められます」。

「ろう付対象品の材質はステンレスや鉄、銅、真鍮などです。接合材は銀ろう、ニッケルろうなどです。製品毎に専用ジグにセットし、ベルトコンベヤー載せて連続式水素炉で所定の温度に加熱、接合材のみを溶融し、溶着します。その後冷却し、品質検査を経て加工完了になる」と話されます。

岩槻事務所より6名の女性会員がアロイ技研様で就業しています。各会員の業務は前述のジグに加工

部品を手作業で組付け、多品種少量生産品や試作品の部品を手際よくセットしてゆくそうです。

会員の就業は各人週3日(月・金曜)のシフト制で、9時～12時までの人が3名、9時～15時までの人が3名。この就業日程と時間は会員の希望から決めているとのこと。小さな部品のジグへの組付け軽作業で、パートの人達とも仲良く、大変助かっているとのことでした。
(取材・菅野編集委員)



地域班活動

浦和区 第一地域

地域長 市川 優まさる

浦和区第一地域は浦和区の北部地域を受け持ち10班(内・女性班長2名)・会員207名(5月1日現在)で構成されております。

今年度最初の行事として、5月26日(日)の市民清掃活動の日に合せて、第1回目の「清掃ボランティア活動」を実施しました。9時30分に集合、当日は大変気温が高く暑い日となりましたが、20名の方々が清掃用具持参で、参加してくれました。

挨拶し、注意事項をお願いした後、班長2名がリーダーとなり、2手に分かれ、西高通り約1kmの歩道を中心に、交通事故と熱中症に気を付けて頂きながら清掃活動をしました。

活動から帰ってこられた方々から、冷たい飲料水をお渡ししました。本日の労いと、7月6日の地



域会議、次回11月の清掃ボランティア活動にも元気に参加いただけるようお願いして散会しました。これから、班長には、できる限り多くの会員の方とお会いして意見を伺いながら、班長会で話し合い、会員のみなさまが身構えることなく、まずは気軽に参加頂ける地域会議・清掃ボランティア活動にしていきたいと考えますので、ご協力よろしくお願い致します。

北区 第三地域

地域長 松田 幸子ゆきこ

第三地域は東大成町・植竹町・盆栽町・土呂町・本郷町・今羽町・見沼の会員約230名、13班で構成されています。

地域会議および奉仕活動は、各年2回行っておりますが、近年は今まで諸行事に参加されていた方々の退会が続いており、各行事への参加人数の減少が否めません。班長会議の課題はこの一点に絞られています。

班長さん達には班の会員、特に新規会員の皆様に積極的にアプローチしていただくようお願いしております。

また昨年から女子力を結集「地域活性化のために、親睦の輪を広げましょう」と銘打って有志の女性に集まっていたが、年3回、茶話会を催しております。女性ならではの地域に密着した情報網と発信力を駆使して、第三地域に活力を取り戻すべき手立てを、皆さんと模索しながら進めております。



6月開催の第1回目の地域会議では、出席人数46名と、2年ぶりに20%を越えました。

今年度の奉仕活動として、8月末に土呂中学校の草刈り、また12月には土呂駅前の清掃を行う予定です。

会員の皆様のご協力を得て、再び北区第三地域に活力が戻るよう頑張りたいと思います。

親睦互助会

あけぼの会の活動

大宮支部 田島 務

私達北区第二地域親睦会「あけぼの会」は平成元年に発足。年会費と親睦互助会大宮支部「ふれあい会」からの助成金および参加費の一部個人負担をもって運営しています。会は今和の時代に入り、31年目を迎えました。

主な活動は年3回、新年会に5月の定期総会、秋の懇親会です。

令和元年5月30日に定期総会を開催しました。

秋には外へ出掛けようと、昨年10月には皇居、国会議事堂、警視庁を見学。平成29年は人形の街・岩槻巡り、新春には与野七福神巡りも実施。平成28年は長瀬、岩畳で昼食、宝登山神社を参拝し、ロープウエーで山頂に。平成27年には喜多院、時の鐘、菓子屋横丁など川越の街めぐり。

他には宮原駅から聖学院大学、

農家での買い物、寄り道しながら花の丘農林公苑へ。また、鉄道博物館見学等々、足への負担を考慮し、班長会議で決めてきました。

同好会では月2回のグラウンドゴルフ、新春大会、年度末に年間表彰式など、健康と親睦を深めています。

一方、地域長の呼びかけで、奉仕活動として、宮原駅周辺の清掃活動を実施しています。諸先輩方の苦勞に感謝し、令和の時代も永く繋げて行きたいと思っています。



浦和支部の活動状況

浦和支部 鈴木 純

親睦互助会浦和支部の日頃の活動をご紹介します。

当支部会員数は一九〇〇名を超え、会員相互の親睦を図ることを主な目的として、日々活動しています。

恒例の年度事業は、春の4支部合同グラウンドゴルフ大会(浦和、与野、大宮、岩槻。第9回は5月15日に実施済み)への参加。

秋には10月初旬の作品展(会員の芸術作品展示会)と募集人員80名の一泊旅行(あるいは日帰り旅行を2回)、冬には100名規模の新年懇親会を開催します。

同好会活動は、シルバークゴルフ同好会(33名)、フォト・ウォーキング同好会(43名)、ハイキング同好会(40名)、浦和シルバークラウンドゴルフ同好会(33名)、書道同好会(16名)の5つがあり、定期的にグループ活動し、会への加入促進と助成を行っています。

給付事業としては、入会期間5

年以上、77歳以上の会員に喜寿祝い金を給付、また当支部12地域の地域活性化支援も行っています。

これらの活動は地域を代表する15名の幹事が年3回、幹事会を開催し、企画・立案・実行。加えて新たな事業や催し、会員の入会促進を積極的に展開しています。



与野支部の活動状況**与野支部 山内 忠義**

親睦互助会与野支部の定期総会は令和元年5月11日に開催しました。

役員会では昨年のように、「総会出席人員の拡大」と「出席して良かったと言われる楽しい総会にしよう」とのコンセプトで次のような取り組みをしました。

一・総会案内書に、昨年に引き続き終了後の余興として「ハワイアンフラダンス」予定、と記載し、会員の皆様に総会出席を呼び掛けました。

二・令和元年度事業計画案に、「シルバー人材センターの行う事業に積極的に参加するとともに、会員の拡大に協力する」と明記しました。

三・親睦互助会与野支部のモットーを昨年の総会で「仕事を大事に、他人を大事に、自分も大事に」と決め、全員で取り組んできました。

「植木の仕事を丁寧に綺麗にや

つていただき大変感謝している」

とお客様からお礼の言葉がありましたので、支部長挨拶の中で報告しました。

議案は全て承認され、ハワイアンフラダンスは相変わらず好評でした。

最後に親睦互助会与野支部のモットー「仕事を大事に、他人を大事に、自分も大事に」を全員で実践していこうと呼び掛けました。

**みどり会定期総会開催****岩槻支部 落合 詔夫**

親睦互助会岩槻支部「みどり会」

の令和元年度の定期総会が岩槻本丸公民館視聴覚ホールで5月24日（金）に開催されました。当日は参加者と委任状を合わせ、約71%の出席率での開催となりました。

来賓として鶴川所長、片桐副理事長、島村理事にご出席いただき、シルバー人材センターの現状とこれからセンターが取り組む姿勢など、お話いただきました。

続いて今年度喜寿を迎える28名の方々に祝い金を贈呈しました。私も喜寿を祝っていただき、思うことは、節目の年まで健康な日々を送れる喜びへの感謝です。

次に議事は第1号議案から第4号議案まで、参加者のご協力ですムーズに進めることができました。

最後の5号議案、役員選任については、役員1名欠員による補充と役職変更の件について、満場一致で承認されました。

次に同好会のクラブからの各活動報告、および勧誘のお話がありました。

グラウンドゴルフ部の利根川会長より4支部交流大会が、岩槻支部主催で開催されたことが報告されました。

最後にアトラクションがあり、「ドンパン会」による踊りが披露されると、会場の皆さんも一緒に輪になって踊り、盛況のうちに閉会となりました。



女子会展開中!!

女子会とは、女性会員自らが主体となり交流の場を設け、会員活動を活発化させることで、女性会員の入会促進、退会抑制、地域会議や定時総会の出席者数の増加などにつなげるため実施しているものです。

令和元年5月29日(水)浦和事務所で各事務所の女子会の企画・運営の中心となって活動していただいている世話人の方を対象とした女子会を開催しました。



いきいき美容教室



シルボンヌスカーフ

当日は資生堂ジャパン株式会社から講師をお招きし「いきいき美容教室」を実施しました。続いてお茶会に入り、各事務所の昨年度の女子会開催状況報告、グループトークで情報交換を図りました。

参加者からは「今後の女子会の企画に参考になる話が聞けた」と好評でした。

本年度も女子会に参加してくださった方へ、県連合で作成した「シルボンヌスカーフ」をプレゼントいたします。日程等は事務所ごとに周知いたしますので、ぜひお気軽に女子会にご参加ください。

出張説明会を ご利用ください

「シルバー人材センターに入会すると、どんな仕事を提供してもらえるの?」や「シルバー人材センターにはどんな仕事を頼めるの?」など、センター事業を、一人でも多くの方に知っていただき、身近な存在として感じていただくために、出張説明会のご依頼を受け付けています。

出張説明会は、自治会やサークル活動などお仲間が集まる機会に合わせて、センター職員等が伺います。センター以外の活動をしているお仲間を紹介してくだ



ださい。出張説明会の申込みやお問合せは、センター本部事務所(電話669-0303)へお気軽にご連絡ください。

表紙の言葉

「岩槻城址公園・菖蒲池に
咲く睡蓮とハッ橋」
すいれん
すけきよ

岩槻城址公園は15世紀に太田道灌の父資清が築城したとされる岩槻城の跡地を中心に造られた公園です。城門やお堀の跡など歴史浪漫があると共に、京風の朱色のハッ橋と、池に咲き誇る赤と白の睡蓮などは、街を愛する多くの市民のここの場、観光のシンボルスポットとなっています。

編集後記

今号では定時総会を特集しました。総会では今年度予算が初の20億円を超えることが報告され、総会後はアトラクション、地元出身音楽家によるヴァイオリン演奏会、お楽しみ抽選会で会場は大いに盛り上がりしました。紙面から雰囲気を感じられたでしょうか。

(編集委員会)